

# BRAZIL

2020.12



## 教育・人材育成 現地ニーズレポート

経済産業省  
令和2年度技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業補助金  
(社会課題解決型国際共同開発事業  
(製品・サービス開発等支援事業))

アイ・シー・ネット株式会社

03	概況・特徴
13	ニーズが見込まれる製品・サービス
14	市場規模
20	日本企業の進出可能性
21	業界構造
23	パートナーとすべき現地企業の特徴
24	現地パートナー候補者リスト
27	参入事例



# CONTENTS



## 教育システム

### 学校制度

**9・3・4**制  
初 中 高

### 義務教育期間

**6**歳 ~ **14**歳  
(1学年 ~ 9学年)

### 学校年度

**2**月開始

### 学期制

2月から12月までに最低200日間授業があり、7月に9日間の休みがある。

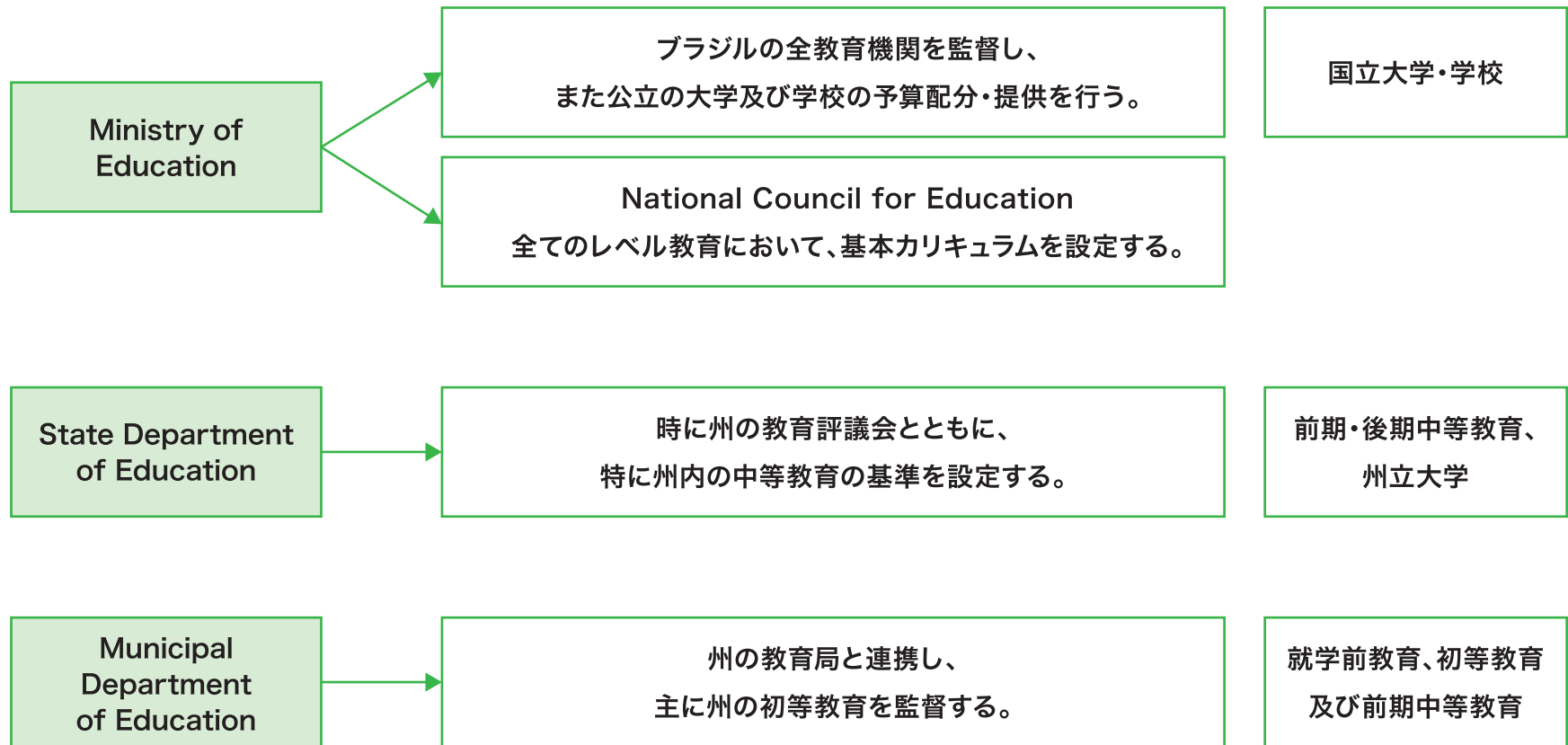
### 教育概要・特色

- 初等教育は当初8年間だったが、2006年に9年間に拡大された。
- 公立校の学費は無料で、2部若しくは3部制。働きながら学ぶ人のために、夜間コースもある。
- 中等教育は15歳～17歳の3年間。
- 公立保育園は無料だが、予算不足で市が幼児数に対応できていない。
- 低所得者層の児童の留年率、退学率が高く、家計を助けるために労働に従事していることが背景にある。



## 教育システム

### 教育機関の構造



(出所) UNESCO 「Overview of the Brazilian Education」(2016)



## 教育水準／識字率・就学率

- ブラジルの若年層(15~24歳)の識字率は99%と高い。
- 初等教育の純就学率は96%と高い。

識字率(%) (2018年)

	合計	男性	女性
15-24歳	99.20	98.98	99.43
15歳以上	93.23	93.01	93.43
65歳以上	78.54	79.34	77.94

総就学率(%) (2017年)

	合計	男性	女性
就学前	96.29	95.91	96.69
初等	115.45	117.39	113.41
中等	100.83	99.30	102.42
高等	51.34	43.53	59.45

純就学率(%) (2017年)

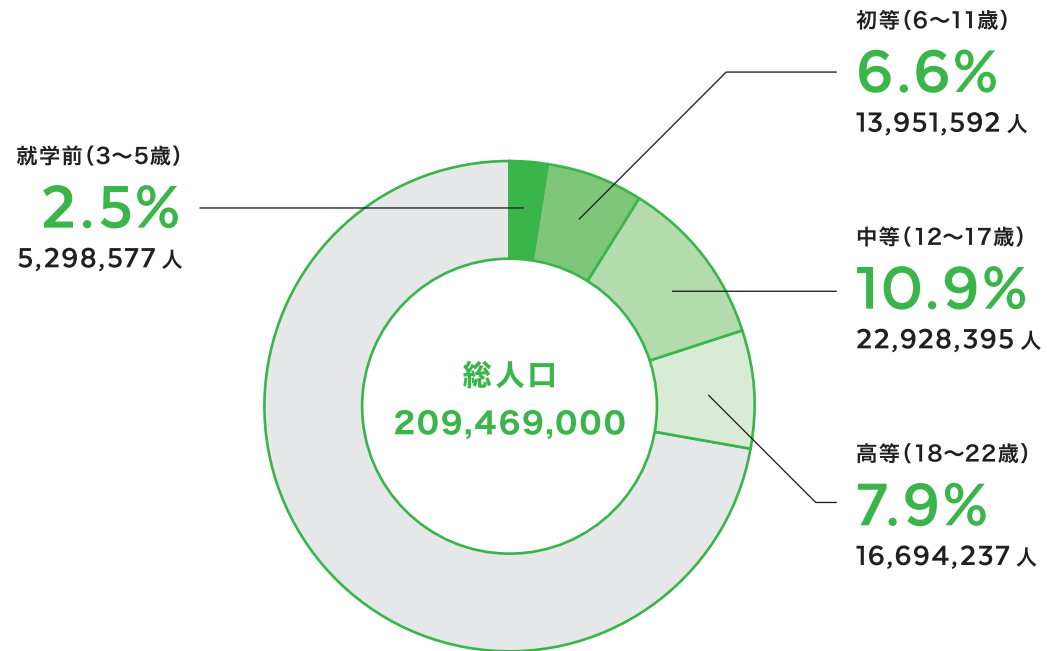
	合計	男性	女性
就学前	86.46	86.05	86.89
初等	96.30	—	—
中等	81.73	80.33	83.18

(出所) UNESCOホームページ(2020年9月時点での情報)



## 就学人口

総人口に対する割合(2018年)



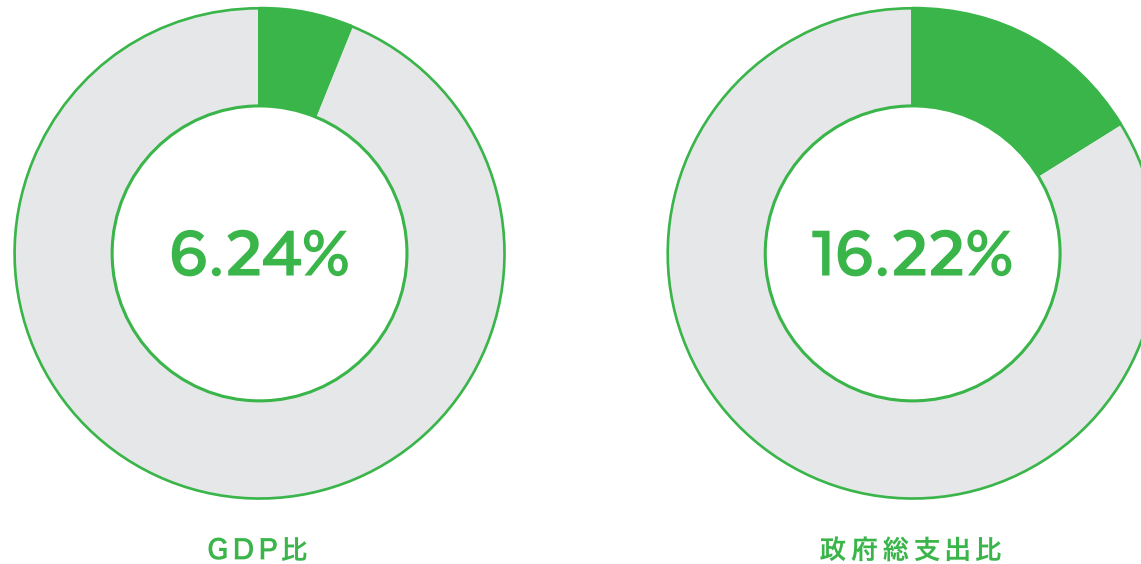
(出所) UNESCOホームページ(2020年9月時点での情報)



## 教育費支出額

- ブラジル連邦憲法によると、国の税収入の18%以上、州及び連邦首都府の税収入の25%以上を教育(教育の発展と教育施設の維持)に使用することが義務付けられている。

教育に対する政府支出(2015)



(出所) UNESCOホームページ(2020年9月時点での情報)



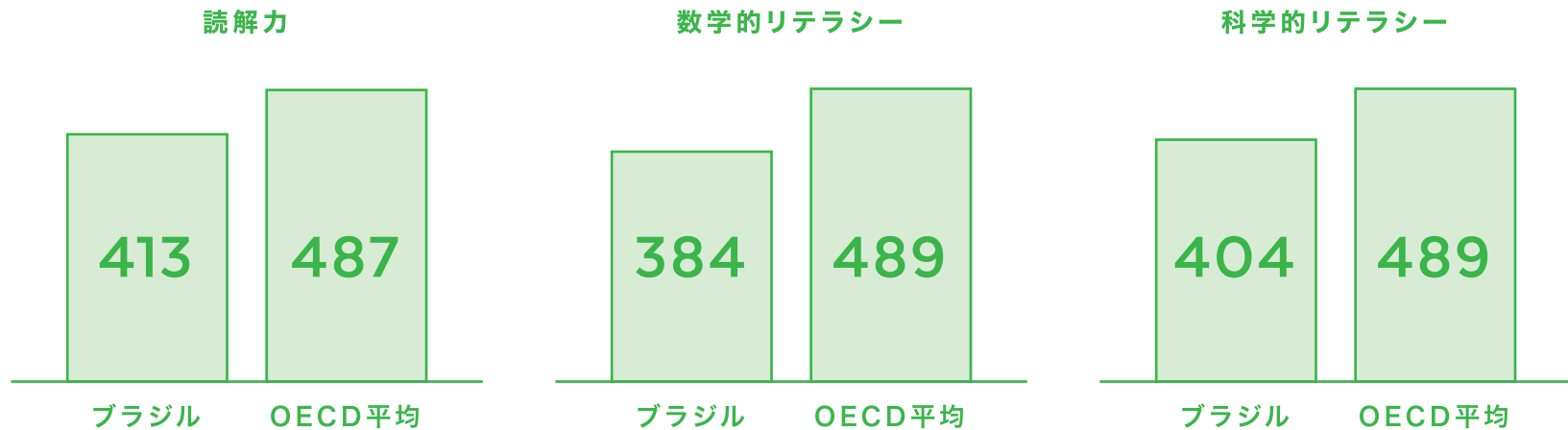
## 教育分野の課題

### 学力の低さ

- 2018年度PISA\*のスコアは72か国中66位（OECD諸国で平均スコア以下）。
- PISAでは3教科（読解・数学・科学）において最低習熟度とされている。Level2に達していない学生が43%（OECD加盟国の平均値は13.4%）。
- 学力の低さの背景として、教員の質の低さ、教員数の不足、中途退学の多さ等が挙げられる。また授業の欠席や遅刻する生徒は、OECD加盟国の平均値よりも高い（OECD加盟国の欠席の平均値21%に対し50%）。

\*PISA: OECD加盟国を中心として3年毎に実施される15歳を対象とした国際的な学習到達度テスト

### PISA 2018



(出所) OECDホームページ(2020年9月時点での情報)





## 教育分野の課題

### 国内の教育格差

- 農村部や貧困世帯の低所得者層の留年率・退学率が高い。主な原因としては、学校へのアクセスがしづらいことや、労働に従事していることが挙げられる。
- 義務教育(9年間)の就学率は98%であるが、9年間で卒業できるのはわずか47%である。
- ポルトガル語(公用語)を母語としない先住民は、約36万人おり、180以上の言語を有している。言語の違いにより、学習に困難が伴いやすく、教育格差を生んでいる。

### 学習教材や学びの場が少ない

- 学校が2部制、3部制であり、女性の就学率が比較的高い(52.5%)が、子どもたちが学校の開始前・終了後に学童や家で楽しく学べる教材が少ない。
- 就学前教育の就学率(0歳~6歳)は37.3%と低い。公立の幼稚園、保育園はあるが、児童数に対応できていない。一方、民間の施設は学費がかかるため、児童数が限定的であり、学びの場の提供が不十分である。



## 教育分野の課題

### STEM\*教育への投資の不足重要性・認知度の低さ

- ブラジルでは2006年にSTEM教育が公立校のカリキュラムに導入された。2015年には、STEM教育の基金が設立され、インターナショナルスクールでSTEM教育の学習方法が研究されている。
- 就学年齢の子どもを持つ親は、STEM教育に対して関心が高い。
- 一方で、ブラジル政府はSTEM教育に十分に投資しておらず、STEM教育の需要に学校は応えられていない。
- 一部の学校でSTEM教育は実施されており、企業もSTEM教育に参入しているが、学習成果がまだ上げられていない。
- STEM教育を提供するには、学校の設備の整備や教員への訓練がまだ不十分である。

\*“Science, Technology, Engineering and Mathematics”  
すなわち科学・技術・工学・数学の教育分野を総称する語。



## 進出している日本企業

- ブラジルに進出している日本の学習塾・学習ドリル出版会社は少ない。

企業名	事業内容	進出形態	現地法人
KUMON	就学前(3歳)～中等教育を対象とする算数/数学・読解・英語の学習塾。	南米にある地域本社を拠点とするフランチャイズ方式	南米公文
三和学院	語学、カルチャー、進学、ヨガ、武道などの学習塾・カルチャースクール	サンワインターナショナル株式会社(本社・東京)を拠点として、ブラジルのサンパウロにも拠点を置くフランチャイズ方式	—
ブラジル未来塾	学習塾、スポーツ、文化等	現地法人	—



## 日本政府、JICA、国際機関の取組み

- 日本はブラジルに対し、近年では民間連携のスキームを活用して、環境、保健、農業分野への民間技術の導入と普及といった分野で支援を行っているが、教育分野に関する目立った動きは見られない。
- 他のドナー国及び援助機関においても当該分野での大きな動きはみられない。

プロジェクト名	支援スキーム	期間
エバンドロ・シャガス研究所、パラ連邦大学熱帯医学研究所	技術協力	(2007-2009)
アマゾン森林保全・違法伐採防止のための ALOS 衛星画像の利用プロジェクト	技術協力	(2009-2012)
無収水管理プロジェクト	技術協力	(2007-2010)
アマゾン遠隔地学校における健康づくりプロジェクト	草の根技術協力	(2007-2010)
サンパウロ州沿岸部衛生改善事業	有償資金協力	(2011-)
ブラジル・セアラ州アラカチ市における人材育成を通じた地域子育て支援プロジェクト	草の根技術協力	(2016-2018)
サンパウロ州及び周辺州における油脂系汚泥処理に関する案件化調査	中小企業・SDGsビジネス支援事業	(2019-2020)
農機開発整備人材の育成にかかる案件化調査	中小企業・SDGsビジネス支援事業	(2018-2019)

(出所) JICAホームページ(2020年9月時点での情報)



## ニーズが見込まれる製品・サービス

製品・サービス	想定する顧客	顧客のニーズ・課題	顧客の購買力
学習ドリル	公立・私立学校の生徒(基礎教育) 公立・私立学校の親(基礎教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中流家庭の増加などから質の良い教育への関心が高まっているものの学習教材は不足しており、学習効果の高い自宅でできる学習ドリル教材の需要が高い。</li> <li>・子どもの両親は、STEM教育を提供する学習塾への投資に強い関心を示す傾向にある。</li> </ul>	中流階級以上の親の毎月平均購買力は「200～300BRL(約3,736～5,604円)」。
学習塾	公立・私立学校の生徒(基礎教育) 公立・私立学校の親(基礎教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立校では質の良い教育が受けられないと感じている親が多く、補習校の需要が高い。</li> <li>・学校以外の学習塾などの学びの場が限定的であり、学校での設備(実験室・パソコン)が少ない。</li> <li>・公立の保育園に通える子どもが限定的であり、学びの場や教材の需要がある。</li> </ul>	中流階級の親の毎月平均購買力は「200～300BRL(約3,736～5,604円)」。

(出所) 15名の親を対象にした現地聞き取り調査(2020年9月)



## 市場規模

### 学習ドリル・学習塾 (STEAM教育を提供する科学教室・理数系の塾)

- ターゲット:基礎教育の公立・私立学校の生徒 約2,920万人



## 市場環境

### ブラジルの教育分野の学習ドリル

- 出版業界の教育部門では、教科書と副教材の販売が大多数である。
- 昨今は教育分野の出版業界への外国企業の参入も見られるようになっている。
- ブラジルの主要な出版業界の市場は、サンパウロとリオデジャネイロの2都市。南部や貧困層の地域では、市場が小さい。

### ブラジルの学習ドリルの販売市場

- ブラジルの学習ドリル販売市場は、本屋が46.9%、代理店販売が20.76%、10.06%がオンライン、学校が3.84%、インターネット販売が2.67%である。  
➔ 本屋の需要を把握しておくことが重要である。
- ブラジルには3,481軒の書店があり、その内74%はサンパウロやリオデジャネイロを有する南部および南東部に存在している。



## 市場環境

- サンパウロでは、私立学校に通っている子どもの親は、公立学校に通っている子どもの親より学習塾への関心が強い。
- 両親へのインタビュー調査の結果、子ども一人当たり to 充てたい毎月の教育費は、多い順に、「200～300BRL(約3736～5604円)」、「100BRL\*1(約1868円)以下」、「100～200BRL(約1868～3736円)」、「300～400BRL(約5604～7472円)」という回答結果となった。
- 学習塾に行かせたくない と回答した親の理由として、サンパウロの交通渋滞が挙げられた。しかしながら、オンライン学習サービスを取り入れることへの関心はまだ低い。

\*1 BRL(ブラジルレアル):1 BRL=18.68円(2020年9月29日時点)



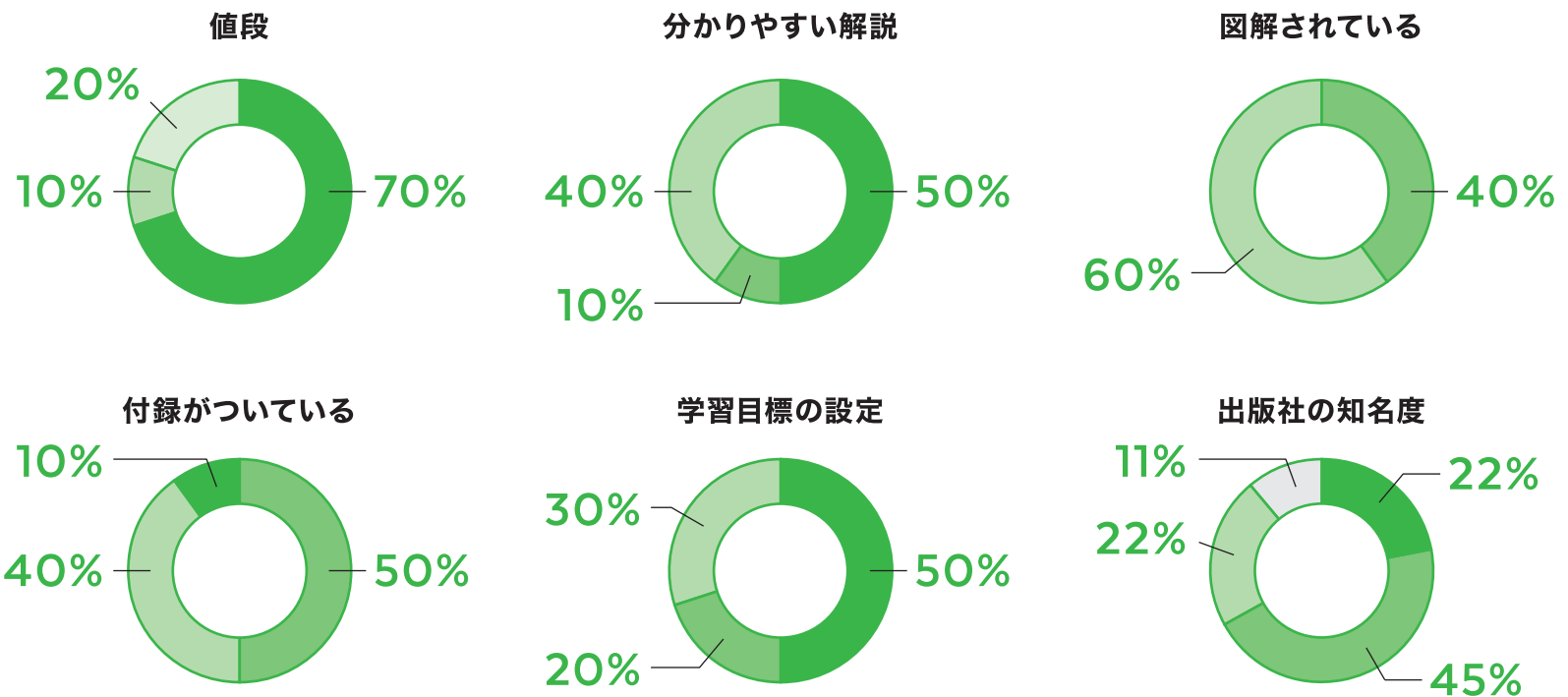


## 市場環境

### 製品・サービス(学習ドリル)のニーズ

- 子どもの親が教材を購入する際に重視する点として、「値段」、「ドリルの説明の分かりやすさ」、「学習目標の設定がされていること」、「付録がついていること」が挙げられる。

■ あてはまる   
 ■ ややあてはまる   
 ■ どちらともいえない   
 ■ あまりあてはまらない   
 ■ あてはまらない



(出所)現地聞き取り調査(2020年9月時点)



## 規制

### 1 フランチャイズ展開

- 契約書の国立産業財産権院 (INPI) への登録  
産業財産法に基づき、フランチャイズ等にかかる契約書は、国立産業財産権院 (Instituto Nacional da Propriedade Industrial: INPI) へ登録する必要がある。ロイヤルティーの国外送金には中央銀行への登録が必要である。
- INPIによる審査  
INPIへの登録手続きは、形式審査のみならず厳格に審査される。とりわけ、経済力の濫用、不公正な取引、競争制限的な条項等、制限条項が契約条件に含まれていないかどうか为重点的に審査される。

### 2 出版会社の規制

- 国立産業財産権院 (INPI) が知的財産に関する登録を管理している。



## 競合製品・サービス

## 学習塾

企業名	規模	サービス内容
KUMON(公文)	生徒数約18万人、事業所数1,500以上	算数、英語、ポルトガル語(国語)
Wizard by Pearson	教室数約1,200	英語・仏語等
FISK- Centro De Ensino	教室数約750	英語、スペイン語
Prepara Cursos	教室数約400以上	IT、ビジネス、数学、語学等



## 日本企業の進出可能性

### 進出形態

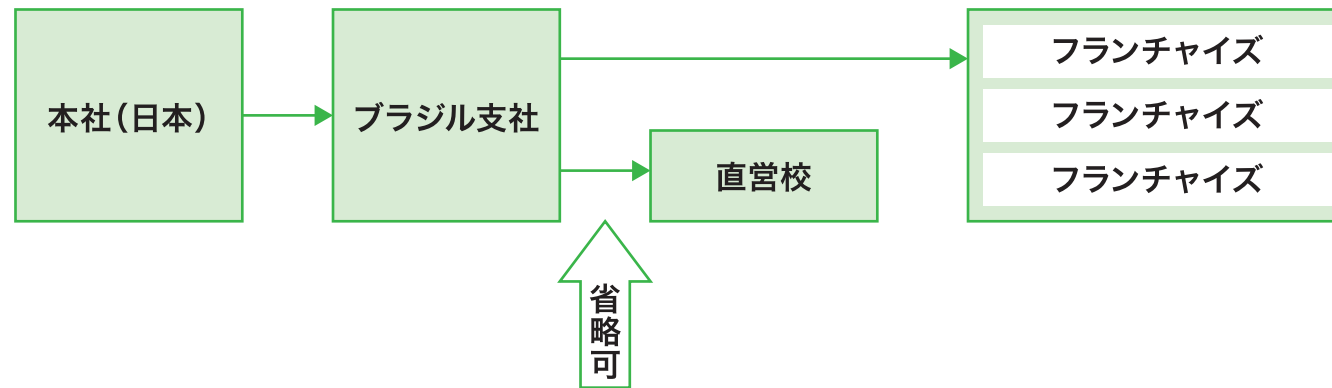
- 人口が多く国民の大半が中流階級に属しており、フランチャイズ・ビジネスは、中流階級向けに適して、リスクが低く成功率が高いといえる。
- 学習塾は、カリキュラムを現地仕様に改定した後、フランチャイズ形態としての進出が想定される。ただし、フランチャイズ展開には厳格な審査が必要となる。
- 学習塾は、学校近隣地域に配置されると通学しやすくなり、利用されやすい。生徒数が多い私立学校と学習塾の提携もあり得る。
- 学習ドリル・教材は翻訳・現地仕様に改訂した後、現地の販売代理店を通じた販売が想定される。



## 業界構造

### 学習塾

- 日本発の教育系の企業の多くは、日本で成功したシステムなどをベースに、現地でスタッフ・講師・生徒を募集し現地の言葉でカリキュラムを実践。現地法人設立や、ライセンス契約を行い、フランチャイズ展開をしている。

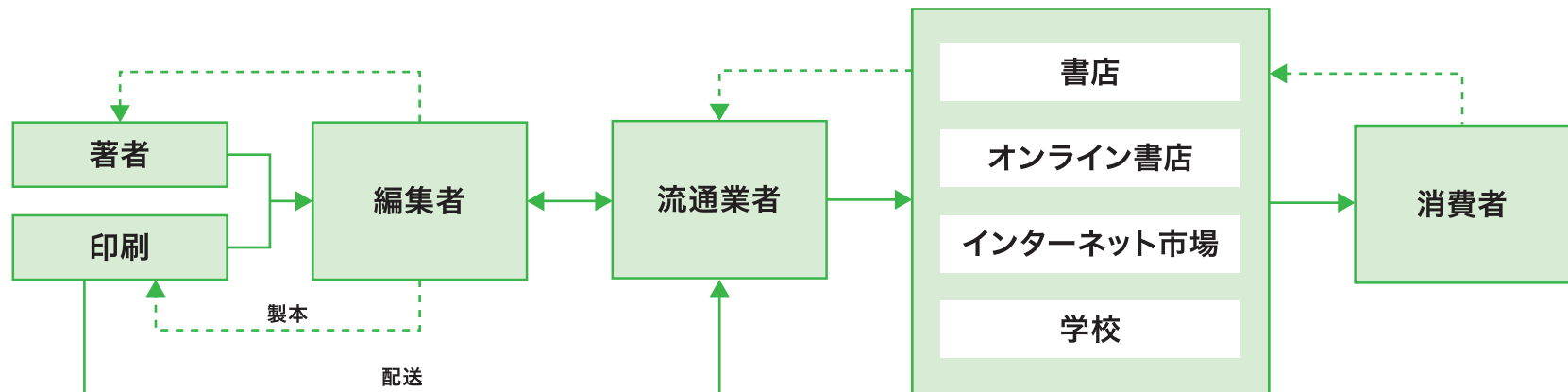




## 業界構造(流通経路)

### 学習ドリル・出版

- ブラジルではLivraria Cultura、FNAC、Livraria da Vilaなどの実店舗の書店のほか、Amazonブラジルなどのインターネット書店も流通の多くを担っている。





## パートナーとすべき現地企業の特徴

### 教材・学習塾のコンテンツ改訂

- 教材の翻訳や、ブラジルのカリキュラムに沿った内容への改訂など、教材・学習コンテンツの現地仕様化に際して専門的な知見をもって協力できる者。あるいは、そのような人材を有する企業、団体。

例) 教育開発デベロッパー、教育コンテンツ制作企業、私立学校など

### 教材の販売を行う企業

- 現地代理店として教材の管理・販売を行う。登録手続きのサポートや現地での顧客対応の役割を担う。

例) 書店、代理店、学習塾、私立学校など



## 現地パートナー候補リスト

### 学習塾

名称	業務内容・特徴	期待される役割	ウェブサイト
Superprof	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートレッスンの教師を検索するためのプラットフォーム</li> <li>・2013年にフランスで設立され、現在、欧米、中南米、アジアの20か国でサービスを展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習塾の広報活動</li> </ul>	<a href="https://www.ensinamais.com.br/">https://www.ensinamais.com.br/</a>
Tutores	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の短期的な目標達成をサポートするための、テストや評価内容に沿った指導を行う補助教育会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習塾講師のリソース</li> </ul>	<a href="https://www.tutores.com.br/">https://www.tutores.com.br/</a>
Ensina Mais	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語、ポルトガル語、数学、コンピューター、ロボット工学の分野で子どもや10代の若者を対象とする学習塾。</li> <li>・テクノロジーと教育を組み合わせたハイブリッド教育方法論</li> <li>・デジタルデバイスやインタラクティブな教授方法を採用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモートでのサービスの提供</li> <li>・学校支援ネットワークの活用</li> </ul>	<a href="https://www.ensinamais.com.br/">https://www.ensinamais.com.br/</a>

(出所)各社ホームページ(すべて2020年9月時点での情報)





## 現地パートナー候補リスト

### 学習ドリル・出版

名称	業務内容・特徴	期待される役割	ウェブサイト
Superprof	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プライベートレッスンの教師を検索するためのプラットフォーム</li> <li>・2013年にフランスで設立され、現在、欧米、中南米、アジアの20か国でサービスを展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインマーケットプレイスでの学習ドリルの販売</li> </ul>	<a href="https://www.superprof.com.br//">https://www.superprof.com.br//</a>
Tutores	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の短期的な目標達成をサポートするための、テストや評価内容に沿った指導を行う補助教育会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ドリルの販売チャンネルの拡大</li> </ul>	<a href="https://www.tutores.com.br/">https://www.tutores.com.br/</a>
Supera	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「脳の体操」を専門とする教育会社</li> <li>・企業向けコースも提供している</li> <li>・全国で400以上のフランチャイズユニットを展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脳トレ関連の教材販売</li> <li>・社内研修むけ教材の販売</li> </ul>	<a href="https://metodosupera.com.br/nossa-empresa/">https://metodosupera.com.br/nossa-empresa/</a>
Ensina Mais	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語、ポルトガル語、数学、コンピューター、ロボット工学の分野で子どもや10代の若者を対象とする学習塾。</li> <li>・テクノロジーと教育を組み合わせたハイブリッド教育方法論</li> <li>・デジタルデバイスやインタラクティブな教授方法を採用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テクノロジーを活用した学習ドリルの販売</li> <li>・学校支援ネットワークの活用</li> </ul>	<a href="https://www.ensinamais.com.br/">https://www.ensinamais.com.br/</a>
Explica Cursos	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教師サービスのフランチャイズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="http://www.explicacursos.com.br/site">http://www.explicacursos.com.br/site</a>
Kumon	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習塾・教室</li> <li>・ブラジルでは、就学前から大人まで数学、ポルトガル語、英語、日本語のコースを提供している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="https://www.kumon.com.br/">https://www.kumon.com.br/</a>

(出所)各社ホームページ(すべて2020年9月時点での情報)



## 現地パートナー候補リスト

### 学習ドリル・出版

名称	業務内容・特徴	期待される役割	ウェブサイト
Somos Educação (Cogna Group)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育関連教材の大手出版社</li> <li>未就学児から専門書まで幅広く教育関連の製品を取り扱っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="https://www.somoseducacao.com.br/">https://www.somoseducacao.com.br/</a>
Editora Moderna (Santillana Group)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マニュアル、職業訓練、リテラシー教科書の他子どもや若者向けの本を出版</li> <li>スペインの企業で、現在はスペイン語圏及びポルトガル、イギリス、ブラジルで事業を展開している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="https://www.moderna.com.br/pagina-inicial.htm">https://www.moderna.com.br/pagina-inicial.htm</a>
Editora Ática	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師用マニュアル作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="https://www.aticascipione.com.br/">https://www.aticascipione.com.br/</a>
Editora Scipione	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内外の著者による教科書や文学本の発売</li> <li>教師と提携し、特に化学、物理学、生物学の教科書に注力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="https://www.aticascipione.com.br/">https://www.aticascipione.com.br/</a>
Editora Positivo	<ul style="list-style-type: none"> <li>私立教育印刷、出版</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="http://www.editorapositivo.com.br/">http://www.editorapositivo.com.br/</a>
Macmillan	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習体験に特化した英国の出版会社</li> <li>学習体験を強化する出版物とデジタルリソースに注力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習ドリルの販路拡大</li> </ul>	<a href="http://www.macmillan.com.br/">http://www.macmillan.com.br/</a>

(出所)各社ホームページ(すべて2020年9月時点での情報)



## 学習ドリル・出版の海外進出事例

### 名称

#### 株式会社公文教育研究会

(南米:Kumon América do Sul Instituto de Educação Ltda)

Rua Doutor Tomas Carvalhal, 686 Paraiso  
Sao Paulo, SP 04006-002 Brazil

<https://www.kumon.com.br/>

### 企業情報

- 公文式教室のフランチャイズ展開、および各種教材の研究開発、制作、指導法研究。
- 学校や企業に対する学習支援や学習療法の実施。世界57の国と地域に普及。

### 製品・サービス

- 算数・数学、英語、国語(母国語)などのフランチャイザーとしての教材開発、制作、指導法の研究、並びに教室の設置・運営管理。

### ビジネスモデル概要

- 約40年前に南米に進出し、ブラジルを中心に南米にフランチャイズ方式で約1,700教室を運営。
- 子どもから大人まで幅広い世代向けの公文式教室の提供。
- 算数・数学・国語だけでなく英語の教材を切り口にしたビジネスを強化。

(出所)ワンダーラボ株式会社ホームページ(2020年9月時点での情報)



## 学習ドリル・出版の海外進出事例

### 名称

#### 株式会社ベネッセホールディングス

株式会社ベネッセコーポレーション

岡山県岡山市北区南方 3-7-17

<https://www.benesse.co.jp/benesseinfo/data.html>

### 企業情報

- 年齢・発達に合わせたカリキュラム(主に読み書き・算数)を開発。
- 幼児教育を対象とする学習コンテンツを企画・開発・販売。

### 製品・サービス

- グローバルこどもちゃれんじ
- World Wide Kids
- こどもちゃれんじEnglish
- ベネッセ教育情報サイト

### ビジネスモデル概要

- ベネッセは2019年2月現在、「国内教育カンパニー」「海外事業カンパニー」「介護・保育カンパニー」「語学カンパニー」「その他」の5つの部門を設置。幼児向けに、教育グローバルこどもチャレンジ事業を推進している。近年、中国、インドネシア、台湾などのアジアを中心に拡大している。2019年時点で120万人の会員数を有する。

(出所)株式会社ベネッセコーポレーションホームページ(2020年9月時点での情報)



## 学童・学習塾の現地設立の事例

### 名称

#### ブラジル未来塾

R. Carlos Steinen, 455 - Paraíso,  
São Paulo - SP, 04004-012

<https://www.brasil-miraijuku.com/>

### 製品・サービス

- 音楽の個人レッスン、  
スポーツ、芸術／文化などのグルーブレッスン

### ビジネスモデル概要

- 現地法人設立

### 企業情報

- ブラジルに駐在されている子ども達を対象とした学習塾。
- 子育ての場、教育の場としての機能を提供し、楽しく生活するための情報発信の場、そして出会いの場をつくる。



## ブラジルにおける学習ドリル・ 学習塾の参入可能性

分類	就学前教育	初等教育	中等教育
課題・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設・地域により教育の質の格差が大きい</li> <li>家庭内で学べる学習教材の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎学力が低い</li> <li>教員数が不足</li> <li>教員の質が低い</li> <li>地域格差が大きい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中途退学が多い</li> <li>地域格差が大きい</li> <li>経済格差が大きい</li> </ul>
現地ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>教員の力量に左右されない教材</li> <li>理数科教育を楽しく学習できる機会</li> <li>居住地域付近にある学習塾</li> <li>学校では学べない芸術系の習い事に関心が高い</li> </ul>		
顧客想定	就学前教育人口 5,298,577人 対象児童の親 教員	初等教育人口13,389,385人 対象生徒の親 教員	中等教育人口22,928,395人 対象生徒の親 教員
提供製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児向けの楽しく学べる学習ドリル (数やことば)</li> <li>思考力や感性を鍛える学習ドリル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の基礎教育の補助教材</li> <li>算数・理科の学習塾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の基礎教育の補助教材</li> <li>絵画や音楽などの芸術系</li> </ul>

発行者：アイ・シー・ネット株式会社

総責任者：井上真

全体管理：松本幸敏、オレニコフ麻紀子、太田みなみ、淵上雄貴

調査担当：(ラテンアメリカ教育・人材育成) 水流晶子(リーダー)、阿部かなえ、今村沙織、ミムズゆかり

お問い合わせ：Business\_Consulting@icnet.co.jp

デザイン：株式会社ツープラトン

本レポートは、出所を記載した二次資料及び当社による現地ヒアリング結果に基づき、有益だと判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しては、ご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。